

第92期 第2四半期事業レポート

平成30年1月1日から平成30年6月30日まで

福田組から株主の皆様へ

FUKUDA The 92nd Mid-term Business Report



株式会社 **福田組**

証券コード:1899

To Our Shareholders

株主の皆様へ



代表取締役会長

福田勝之



代表取締役社長

太田豊彦

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は平成30年6月30日をもって、第92期の第2四半期（平成30年1月1日～平成30年6月30日）を終了いたしましたので、ここに営業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも何卒変わらぬご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

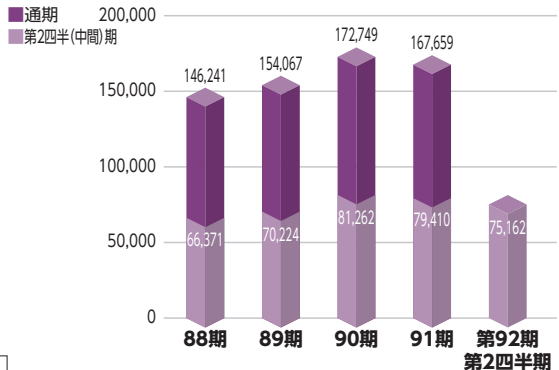
当第2四半期累計期間の市場環境

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、海外の政治経済に不透明感があるものの、好調な企業業績を受けて設備投資は緩やかに増加するとともに、雇用・所得環境の改善により、個人消費の回復もみられ、全体として緩やかに回復しました。

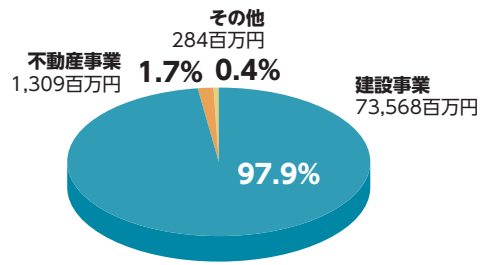
建設市場におきましては、政府建設投資・民間建設投資ともに緩やかに増加し、建設業界の経営環境は堅調さを維持しました。

経営成績

連結売上高（単位：百万円）



連結事業別売上高構成比



当第2四半期累計期間の連結事業概況

当第2四半期累計期間の連結業績は次のとおりであります。
売上高につきましては、建設事業の当期受注が前年を上回ったものの、手持工事の進捗状況が伸び悩んだことから、前年同四半期と比べて5.3%減の751億円余となりました。

利益面におきましては、売上高の減少並びに他社との競争環境が増していることにより工事の粗利益率が前年を下回っていることなどから、売上総利益は前年同四半期と比べて11.3%減の75億円余となり、販売費及び一般管理費においては大きな変動はなかったことから、営業利益は25.5%減の28億円余となりました。

しかし、法人税等調整額の大幅減少により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期と比べて7.3%減の22億円余となりました。

通期の見通し

わが国の経済におきましては、海外の政治経済に不透明感があるものの、国内における企業収益、雇用・所得環境の改善が進み、景気は緩やかな回復傾向が続くものと予測されています。

このような経済状況を背景に、建設業におきましては、民間投資・公共投資共に引き続き安定した需要を期待する一方で、労働者不足による労務単価、並びに資材単価の上昇による建設コストの上昇がリスク要因となることが引き続き予測され、生産性向上や働き方改革を緊急課題として取り組む必要性があります。

当社グループにおける収益状況は、前年同四半期を下回っている結果となっており、工事の発注時期や着工時期の遅れなどによる進捗率低下によるものが主な要因となっております。しかしながら、手持工事量は前期末・前年同四半期を共に上回っており、

かつ受注高も前年同四半期を上回っておりますので、今後の工事進捗率や受注状況を精査すると、当初の計画数値に対しまして想定範囲内に推移しております。

従いまして、これらの状況を勘案して、通期（平成30年12月）の連結業績につきましては、当初計画のとおり、売上高1,750億円、営業利益70億円、経常利益73億円、親会社株主に帰属する当期純利益40億円を見込んでおります。

当第2四半期累計期間の主な受注工事および完成工事

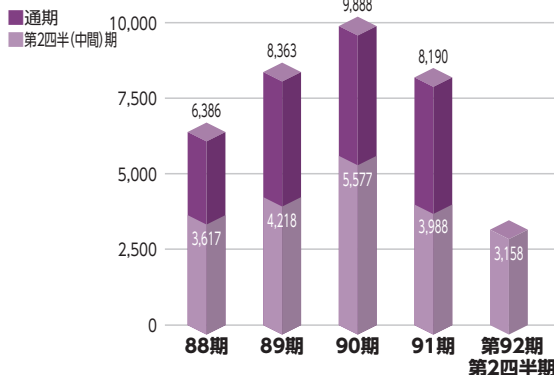
受注工事

- 東急住宅リース(株) 様
(仮称) 新宿成子坂プロジェクト新築工事
- 海岸通1番2番地区市街地再開発組合 様
海岸通1番2番地区第一種市街地再開発事業施設建築物建設工事(1番地)
- 国土交通省 北陸地方整備局 様
信濃川下流山島新田地区河道掘削その13工事
- 古賀市玄望園土地区画整理組合 様
(仮称) 古賀市玄望園土地区画整理事業工事

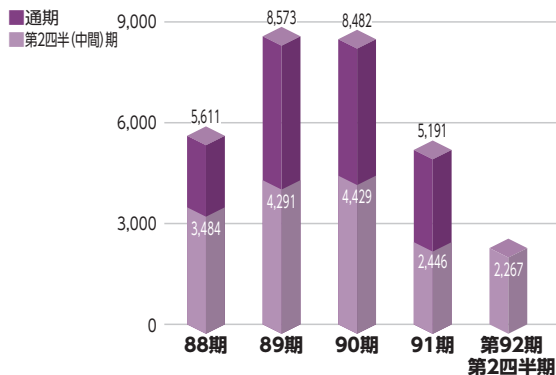
完成工事

- フジ住宅(株) 様
シャルマンフジ和歌山駅前グランピーク新築工事
- 社会医療法人 至仁会 様
圏央所沢病院増改築計画
- 新潟県 様
笠堀ダム23年災河川助成工事 笠堀ダム嵩上げ工事
- 合志市竹迫土地区画整理組合 様
合志市竹迫土地区画整理事業工事

連結経常利益 (単位: 百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位: 百万円)



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)
百万円未満切捨

科目	当第2四半期連結会計期間末 (H30.6.30現在)	前連結会計年度末 (H29.12.31現在)
●資産の部		
流動資産	86,238	90,428
固定資産	35,925	34,494
資産合計	122,163	124,923
●負債の部		
流動負債	52,831	56,917
固定負債	8,586	8,620
負債合計	61,418	65,538
●純資産の部		
株主資本	58,703	57,313
その他の包括利益累計額	1,425	1,461
その他有価証券評価差額金	1,299	1,389
土地再評価差額金	22	22
退職給付に係る調整累計額	103	49
非支配株主持分	615	610
純資産合計	60,745	59,385
負債純資産合計	122,163	124,923

ワンポイント

<連結貸借対照表>

資産の部については、回収資金を月次の下請負代金等の支払に備え、現金預金が増加したものの、売上債権の回収が順調に進んだことから受取手形・完成工事未収入金等が大幅に減少したため、前連結会計年度末に比べ総資産は27億円余減少し、1,221億円余となりました。

負債については、繰越工事に対する工事代金の回収が進んだことによる未成工事受入金等の増加があるものの、当社が下請負代金の支払サイト短縮を実施したことなどに伴い、支払手形・工事未払金の減少が生じたことや前期発生していた多額の未払消費税がなくなったことにより、前連結会計年度末に比べ41億円余減少の614億円余となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことから利益剰余金が増加したため、前連結会計年度末に比べて13億円余増加し、607億円余となりました。

<連結キャッシュ・フロー計算書>

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や売上債権の減少額が主な収入要因となっているものの、前年同四半期より減少しており、かつ未払消費税がなくなったこと、またその他の負債の減少額や仕入債務の減少額が増加したことによる支出面の増加により、77億円余の収入超過となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が増加したことにより、20億円余の支出超過となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる大きな収入はなく、配当金の支払いがあったことにより、18億円余の支出超過となりました。

連結損益計算書

(単位：百万円)
百万円未満切捨

科目	当第2四半期連結累計期間 (H30.1.1~6.30)	前第2四半期連結累計期間 (H29.1.1~6.30)
売上高	75,162	79,410
売上原価	67,577	70,858
売上総利益	7,585	8,552
販売費及び一般管理費	4,705	4,687
営業利益	2,880	3,865
営業外収益	400	204
営業外費用	121	80
経常利益	3,158	3,988
特別利益	186	39
特別損失	49	59
税金等調整前四半期純利益	3,295	3,968
法人税、住民税及び事業税	1,258	1,117
法人税等調整額	△281	342
四半期純利益	2,319	2,508
非支配株主に帰属する四半期純利益	51	62
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,267	2,446

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)
百万円未満切捨

科目	当第2四半期連結累計期間 (H30.1.1~6.30)	前第2四半期連結累計期間 (H29.1.1~6.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,703	29,764
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,030	△1,131
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,848	△1,483
現金及び現金同等物の増加額	3,824	27,150
現金及び現金同等物の期首残高	30,301	17,538
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	93
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,125	44,782

貸借対照表

(単位：百万円)
(百万円未満切捨)

科目	当第2四半期会計期間末 (H30.6.30現在)	前事業年度末 (H29.12.31現在)
●資産の部		
流動資産	56,469	60,383
固定資産	18,424	17,514
資産合計	74,894	77,898
●負債の部		
流動負債	34,973	38,578
固定負債	3,279	3,389
負債合計	38,253	41,968
●純資産の部		
株主資本	34,948	34,219
評価・換算差額等	1,692	1,711
その他有価証券評価差額金	999	1,018
土地再評価差額金	692	692
純資産合計	36,641	35,930
負債純資産合計	74,894	77,898

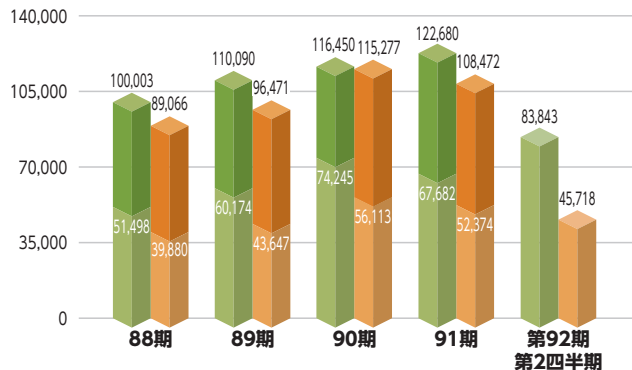
損益計算書

(単位：百万円)
(百万円未満切捨)

科目	当第2四半期累計期間 (H30.1.1~6.30)	前第2四半期累計期間 (H29.1.1~6.30)
売上高	45,718	52,374
完成工事高	45,266	51,749
不動産事業売上高	452	625
売上原価	41,922	47,103
完成工事原価	41,615	46,675
不動産事業売上原価	307	427
売上総利益	3,796	5,271
完成工事総利益	3,650	5,073
不動産事業総利益	145	197
販売費及び一般管理費	1,989	2,018
営業利益	1,806	3,252
営業外収益	506	454
営業外費用	76	46
経常利益	2,236	3,660
特別利益	19	16
特別損失	23	134
税引前四半期純利益	2,231	3,543
法人税等	624	1,047
四半期純利益	1,607	2,495

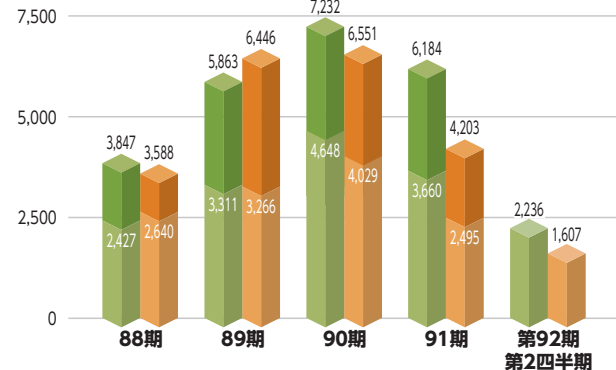
受注高／売上高 (単位：百万円)

受注高 ■ 通期 ■ 第2四半(中間)期 / 売上高 ■ 通期 ■ 第2四半(中間)期



経常利益／純利益 (単位：百万円)

経常利益 ■ 通期 ■ 第2四半(中間)期 / 純利益 ■ 通期 ■ 第2四半(中間)期



介護付有料老人ホーム ギャラリー杜の音 四季彩館 / 株式会社デザイン工房

福田グループで唯一福祉事業を営む株式会社デザイン工房は、「住宅型有料老人ホーム ギャラリー杜の音」「デイサービスセンター ギャラリー杜の音」「入浴特化型デイサービス サボン」に加え、24時間安心して介護を受けることができる「介護付有料老人ホーム ギャラリー杜の音 四季彩館」を新たに開設しました。

仙台市近郊に立地し、春の新緑、夏はシラサギ、秋の紅葉、冬は雪景色の中を飛来する白鳥と四季の彩りを肌で感じることができる、特筆した眺望に恵まれた施設です。近隣には医療機関をはじめ、スーパーやホームセンターなどの商業施設が立地し、充実した生活環境となっております。

ゆとりのある居室は、一人部屋とご夫婦で入居可能な二人部屋をご用意し、全室に介護用ベット、冷暖房エアコン、防災カーテンが標準装備されています。安全・安心の24時間介護体制と快適な暮らしをご提供致します。

大浴場は当施設自慢の天然温泉を使用しており、ナトリウム塩化物成分が豊富なお湯は湯冷めしにくく、体を芯から温める効果があります。

随時見学を受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。



四季彩館からの風景



四季彩館食堂



四季彩館エントランスホール



四季彩館モデルルーム520号室

お問い合わせ先 ギャラリー杜の音 TEL 0120-252-056

<http://www.designkobo.jp/>



会社の概況

(平成30年6月30日現在)

創業 明治35年1月
 設立 昭和2年12月
 資本金 5,158,408,496円
 従業員数 870名
 連結子会社 17社 (福田道路(株)他)
 主要な事業所 ●本社
 新潟市中央区一番堀通町3番地10
 電話 025-266-9111 (大代表)
 ●本店・支店
 新潟本店 (新潟市中央区)、東京本店 (東京都千代田区)、東北支店 (仙台市青葉区)、名古屋支店 (名古屋市中区)、大阪支店 (大阪市北区)、九州支店 (福岡市博多区)、中越支店 (新潟県長岡市)、北海道支店 (札幌市中央区)
 ●営業所
 盛岡、千葉、横浜、村上、上越、広島ほか6営業所



役員

(平成30年6月30日現在)

代表取締役会長 執行役員会長	福田 勝之	上席執行役員	大塚 進一
代表取締役社長 執行役員社長	太田 豊彦	上席執行役員	高桑 正一
代表取締役 専務執行役員	石川 渡	執行役員	湯浅 次男
取締役 常務執行役員	荒明 正紀	執行役員	田宮 強志
取締役 執行役員	相馬 良一	執行役員	今野 和則
取締役 執行役員	増子 正弘	執行役員	岩崎 勝彦
取締役 執行役員	山本 武志	常勤監査役	八鍬 耕一
取締役	矢澤 健一	監査役	砂田 徹也
取締役	中田 義直	監査役	宮島 道明
常務執行役員	大岩 千尋		

注1. 取締役 矢澤健一、同 中田義直は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
 2. 監査役 砂田徹也、同 宮島道明は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株式の状況

(平成30年6月30日現在)

発行可能株式総数…………… 20,000,000株
 発行済株式の総数(自己株式を除く)…………… 8,885,852株
 株主数…………… 3,485名

大株主	株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
	(公財) 福田育英会	688	7.8
	(株) 第四銀行	439	4.9
	福田 直美	431	4.9
	福田 フジ	326	3.7
	小沢 和子	321	3.6

(注) 持株比率は自己株式(102,259株)を控除して計算しております。なお、当該自己株式数は、「株式給付信託(J-ESOP)」および「役員株式給付信託(BBT)」制度の信託財産として、資産管理サービス信託銀行(株)(信託E口)が保有する当社株式(48,600株)は含まれておりません。

株主メモ

●事業年度

1月1日から12月31日まで

●定時株主総会

3月

●基準日

定時株主総会 12月31日

期末配当金 12月31日

中間配当金 6月30日

●株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

東京都府中市日鋼町1-1

TEL 0120-232-711 (通話料無料)

送付先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

●単元株式数

100株

●上場証券取引所

東京証券取引所 市場第一部

●公告の方法

電子公告の方法により行います。

ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

公告掲載URL <http://www.fkd.co.jp/>

【ご注意】

株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

株主優待制度

当社では、日頃の株主様の御支援に感謝申し上げるとともに、弊社株式を未永く保有していただくことを目的に、株主優待制度を導入しております。

保有株式数	優待贈呈内容	贈呈実施基準
200株以上	クオカード2,000円分	毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された内容に応じ贈呈
200株以上	クオカード5,000円分	1年以上継続保有（株主名簿に3回以上記載または記録）された内容に応じ贈呈

贈呈時期 毎年3月下旬発送予定

●株式手続に関するFAQ

1 特別口座では株式の売買を行うことができないので、特別口座にある株式を証券会社の口座に振替たいのですが…

あらかじめ、証券会社に口座を開設した後で、当社の特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行までお申し出下さい。単元未満株式についても振替が可能です。振替にかかる手数料はございません。

2 単元未満株式を処分したいのですが…

当社では、単元未満株式の買取・買増請求制度を採用しておりますので、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行までお申し出下さい。

※すでに、単元未満株式を特別口座から証券会社の口座に振替えられた場合は、振替先の証券会社にお申し出下さい。

3 各種手続の申し出先を知りたいのですが…

①証券会社の口座にある株式
▶お取引先の証券会社

②特別口座にある株式
▶三菱UFJ信託銀行
(※右記までお問い合わせ下さい。)

〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>



FUKUDA

本社／新潟市中央区一番堀通町3番地10

電話 025-266-9111 (大代表)

<http://www.fkd.co.jp/>

